



リボンキャラバン Vol.2

地域おこし 協力隊員

市外から移り住み、新境地で活躍する隊員たち。市への想いとその素顔に迫ります。

もっと芸術で市を盛り上げたい

政策企画課

田中 たなか

賢さん けん

肩肘張らずに
自然体でいられます



「FabLab」ではキーケースや名刺ケースなど様々な作品づくりが気軽に楽しめます
リラックスしたい時は、神楽門前湯治村の天然温泉でゆったりと過ごしています
鍛造の作品づくりに使用するカナヅチは、大学生の頃から大切に使っている宝物

人と人の繋がりが生んだ縁
流れ着くように市に移住

広島市立大学芸術学部美術学科で学び、彫刻家の卵として研究生をしながら就職活動をしてきた田中さん。田中さんの作品は、鉄をカナヅチで叩いて立体物を作る鍛造と呼ばれるものです。「仕事をしながら作品づくりに励むのが夢でしたが、広島市内ではスペースや騒音の問題で彫刻を続けるのが難しいと感じていました。そんな時、声をかけたのが安芸高田市に暮らす大学時代の先輩。同大学を卒業後、安芸高田市に移り住み、作品づくりを行っていました。「二度見学を訪れると、創作環境が抜群。案内をしてくださった地域の方が、『将来はここを芸術のまちにしたい』と言った一言で、ぼんは決まりました」。地域おこし協力隊には、その地域の方の勧めで応募。現在は、移住相談の窓口などを担う移住定住促進事業を担当しています。「自然や神楽など市の魅力はたくさんありますが、相談者の方にはいい所だけでなく、デメリットなどもしっかりと伝えるようにしています。定住してもらうためには、とても大切なことだと考えています。土曜日は3Dプリンターやカッティングマシンなどの工作機械を備えたワークショップ「FabLab Hiroshima」のスタッフとして活動中。誰でもものづくりが楽しめる会員制の工房です。「ものづくり」をキーワードに、安芸高田市の魅力を公私に渡って発信し続けています。

キャン ペーン メープルカイザーが本市を訪問 オレンジリボンキャラバン

11月18日（金）／市役所

厚生労働省では、毎年11月を「児童虐待防止月間」と位置づけ、集中的な広報・啓発を実施しています。11月18日（金）には、児童虐待防止啓発活動に取り組むご当地ヒーロー「安芸戦士メープルカイザー」がオレンジリボンキャラバンで本市を訪問しました。竹本副市長との会談では、子育て負担の軽減や地域からの孤立の解消を図るための保護者支援について話し合われたほか、児童虐待の未然防止、早期発見に努め、社会全体で支援していくことを再確認しました。



ツアー 鉄道と市の魅力がぎっしり 秋のぶらり旅

11月26日（土）、27日（日）／JR芸備線・三江線

地域住民の生活に欠かせない公共交通の利用促進を図ることを目的に、JR芸備線・三江線を活用した「秋のぶらり旅」ツアーを開催しました。コースは邑南町での「NAKA イルミおおなん 2016」を基軸に神楽門前湯治村での女性神楽鑑賞コース（26日）と川根地域での柚子もぎ体験コース（27日）の二つを用意。2日間で約78人が列車の旅を楽しみました。参加者のうち、JR芸備線・三江線に全く乗ったことがないという人は21%。今後も鉄道の魅力を体験してもらうことで、公共交通の利用促進を図ります。



研修 会 地域の介護予防リーダーを育成 健康運動推進員実践者研修会

11月9日（水）、16日（水）／クリスタルアージュほか



健康運動推進員とは、地域において転倒防止体操「ころげん体操」を普及する地域の介護予防リーダーです。平成21年度から養成講座を開催し、現在792人の健康運動推進員が誕生しています。今年も11月9日と16日に計4回研修会を実施し、延べ139人が受講しました。ころげん体操の実技や市栄養士による「バランスのよい食事について」の講義に対し、参加者は熱心に取り組んでいました。今後も地域において「ころげん体操」を継続、介護予防に役立てていきましょう！

記念 事業 心を打つ小学校の取り組み 第68回人権週間記念事業

11月27日（日）／甲田文化センター ミュース



人権週間記念事業として、映画「みんなの学校」が上映されました。映画の舞台は大阪市立大空小学校。不登校も特別支援学級もない、全ての子どもたちが同じ教室で一緒に学ぶ学校と保護者、地域の取り組みを描いたドキュメンタリー映画です。上映後には、初代校長の木村泰子さんが講演を行い、「子どもは地域の宝です」と話されました。来場者は10代から80代までの165人。鑑賞後、「こんな学校に行きたい」「心を打たれた」などの感想が寄せられました。